

白河市立大信中学校だより



三年先の稽古

令和7年1月22日
第42号

発行責任者：校長 亀田征利

教育目標

～ 夢を求め、健やかで
温かい生徒の育成 ～

たくましく健やかな生徒
いのちを尊ぶ温かな生徒
真実と夢を追求する生徒

謹賀新年 保護者の皆様、本年もよろしくお願いいたします。

令和6年度第3学期始業式 校長式辞

新年明けましておめでとうございます。皆さんと元気に年頭のあいさつができることを嬉しく思います。令和7年が皆さんにとって良い年になることを願っております。

3年生の皆さん、いよいよ受験本番です。健康管理に留意し、受験勉強に励み、行きたい高校へ進学してください。受験は団体戦です。先生方にできること、1・2年生にできること、遠慮なく言ってください。協力できることは協力します。皆さんの進路実現を支援していきます。

2年生の皆さん、4月から最上級生になります。先輩が残した良い伝統を引き継いでください。・あいさつや返事の声が大きい。・清掃態度が良い。・集中力がある。・聞く力がある。・後輩に優しい。等です。

1年生の皆さんは、4月から先輩と呼ばれるようになります。2年生は中だるみの学年と言われることがあります。皆さんは自分のやりたいことに夢中になって取り組み、後輩から中学生はすごいと尊敬されるようになってください。

この3学期はあっという間に過ぎていきます。今、この仲間と過ごせる時間を大切にしてください。そして、仲間が成長できる「前向きな言葉」を掛け合うことで充実した日々を送ってください。寒い日が続きます。健康管理にはくれぐれも気を付けて生活していきましょう。

令和7年1月8日

白河市立大信中学校長 亀田征利

学芸部生徒作品：福島県立美術館に展示

学芸部の生徒が作成した年賀状が福島県立美術館のエントランスホールに展示されています。

展示期間は、1月12日（日）～1月31日（金）で、観覧は無料です。

入館時間は、9：30～17：00（最終入館16：30）です。月曜日は休館です。

＜福島県立美術館：福島市森合字西養山1番地 TEL024-531-5511＞

福島県立美術館は、すぐれた美術作品にふれることで人々の感性が高まり、情操が養われ、憩いと喜びのなかに創造の手がかりが得られる場として、1984（昭和59）年7月に、隣接する福島県立図書館とともに設けられました。この目的のために、収蔵作品の充実をはかり、重要な文化財である美術品の保存につとめ、継続的な調査研究に基づく展示・普及事業を積極的に展開するとともに、美術に関するさまざまな情報を提供している所です。美術館は、福島市のシンボルであり憩いの場として親しまれている信夫山のふもとにあります。60,000平方メートルもの広大な敷地には、樹木や花々、広い芝生や日本庭園があり、散策や休憩の場としても多くの人々が訪れています。

学芸部顧問：川口園恵教諭



※左

吉田真優さんの作品です。
黒の切り絵ですが、その細かさに注目してください。細いところは、縫い針どころか、手縫い糸の細さです。「迎春」の赤い文字も、切り絵です。

福島県立美術館の学芸員の方も驚いていました！！



※上：劉莉愛さんの作品です。

ひとつひとつの小さい点を丁寧に切り上げました。点の細かさで、毛並みの柔らかさを表現しました。また、温かみのあるオレンジ色を探し、彩色しました。表情も工夫したところです。



※左
齋藤晟正さんの作品です。
色鉛筆彩色によるイラスト
を出品しました。
今年の干支巳をモチーフ
に、みんな仲良く良い年にな
るように祈りを込め、「蛇の
結婚式」を描きました。



※上：野木陽琳さんの作品です。
細かな切り絵で、野ウサギの毛のふさふさを表現しました。同じ細かな切り絵でも葉っぱの表現とは違うところが難しかったです。



※左
柿井友里奈さんの作品です。冬の花クリスマスローズと、新春の水仙の花を黒の紙で切り、色を入れました。
葉の緑のグラデーションや、くすんで落ち着いているけれど華やかさがある花の色選びに苦心しました。

※右
渡辺桃子さんの作品です。
雪だるまのスノーボールと雪の結晶の切り絵です。雪だるまの楽しそうな表情で、新年の喜びと期待を表現しました。
2025年も
よい年になりますように！！



※上
猪股みか子さんの作品です。
オリジナルイラストです。
白蛇と女の子を描きました。色鉛筆による彩色です。なかなか濃い色が入らなくて苦労しました。少しいたずらっぽい女の子の表情にも注目してください。

